

ふくしま青年海外協力隊の会

今年度、当会が主催/協力/参加した数々の事業イベントをOVのエッセイから振り返ります。

NEWS 2018 – 2019

01 会長挨拶

今年も一年間、様々な活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。



今年から会長として、会の運営について携わらせていただきましたが、特に事務局長、会計、副事務局長の御三方にはお世話になりました。私の力不足を補い、ほとんどの作業を行って頂き、私は報告を受け、頷くだけの1年になりました。

今年度東北ブロック会議に出席させていただき、他の県のOV活動の現状について知る機会がありましたが、どの県も運営に苦勞なされているようでした。それに比べると、我々福島県OV会は、会員数・事業数ともに、充実した内容であり、これもひとえにこれまでOV会を支えて頂いた会員の皆様の賜物であると感じた次第であります。

私事になりますが、昨年度いっばいで市役所を退職し、これからは決まった組織に属さずに自分なりの考えを持って生きていこうと決めました。一昨年前から自分が今後どのように生きるか考えた結果であり、自分は福島を離れるかもしれませんがそのことについて話した後でも、会長に推薦していただいた前会長の意思を引き継ぎ、出来る限りのことを会に残していけたらと考えております。

今年も何卒、よろしく願いいたします。

会長 吉田 淳平

Contents

- 01 会長挨拶
- 02 わくわく
ワールドフェスタ in 相馬
- 03 グローバルフェスタ
JAPAN 2018
- 04 地球体験キャラバン
 - ・平田村中央公民館
 - ・福島市庭塚小学校
 - ・桑折町中央公民館
 - ・福島市
 - ・須賀川市交流センター
 - ・鏡石町公民館
- 05 お知らせ
FacebookとInstagramを
始めました！

02 わくわくワールドフェスタ in 相馬 2019 2/17 相馬総合福祉センター

高橋 司 (H17-2 メキシコ 青少年活動)

春の足音が聞こえ始めた2月17日、わくわくワールドフェスタ in 相馬が開催されました。相馬で唯一の国際イベントということもあり会場も満員の盛況ぶり、ご来場いただいた方々にゆっくり座っていただくこともままならない状態でした。JICA 二本松チームと合同で派遣国の缶バッジづくりやモザンビークの小物雑貨販売、応募相談等を行いました。県内各地からたくさんのOV、ご家族がご来場下さり、他ブースで出展していたOVの方々もいて、多くのOVが集った楽しい一日となりました。一人一人が様々な魅力を持ったOVの方々。そんなOVが集えるイベントをFOCAでも開催して、さらなる社会還元をしていければと思った一日でした。

発行：ふくしま
青年海外協力隊の会
発行日：2019/5/10
編集：金山忍 (H21-4 タイ陶磁器)

FOCAの最新情報掲載中！
HP：http://foca.jocv.net

03 グローバルフェスタ JAPAN 2018 9/29 東京お台場

小熊則子 (H2-3 音楽 サモア)

9月29日(土)、東京のお台場で開催された「グローバルフェスタ JAPAN 2018」に、当会として初めてブース出展しました。当初は、29・30日の2日間開催の予定でしたが、台風接近により、30日は終日中止という決定がなされ、29日だけの開催となってしまいました。それでも、約44,000人の来場がありました。



当会は、大震災復興支援活動の一環として出展し、会津若松市在住の村山英司 OB 栽培の会津コシヒカリ(新米)や、福島市在住の後藤勇一 OB 栽培の梨(豊水)を販売しながら、福島県のPRや、風評被害払拭のための情報提供などを行いました。今回は、吉田淳平会長、斉藤祐巳さん、川崎豊さん、山崎裕章さん、北野一人さん、吉村悦治さん、小熊則子がブーススタッフとして参加し、2日間で販売する予定だった商品を1日で売り切るため、がんばりました。福島にゆかりのあるお客様が声を掛けてくださったり、買い物をしてくださったり、試食の梨のおいしさに会話が弾み、重いのにたくさん買ってくださった方もいて、大変有意義な出展となりました。これからの復興支援活動の可能性を広げることができたと思います。



04 地球体験キャラバン 2018 8/18 平田村中央公民館

中山 澄子 (H12-1 パラオ 小学校教諭)

平成30年8月18日(土)平田村中央公民館で小学生44名を対象に行った。ゲストは、カナダ出身交流員、中国出身とブラジル出身の研修員、OV会からは星さん、伊東さん、坂中が参加した。合唱の練習が急きょ入り、予定していた人数(44名)よりは少なくなってしまうことは非常に残念だったが、その分触れ合う時間がたっぷり取れた。ゲストは3名だったが、民族衣装のOV3名にも子ども達は興味深々。外国人は4名以上と思っていた子ども達が多かった。「全員(OV含め)が外国人!」と言う子どもも数名おり、楽しいオープニングとなった。今回は、ゲストやOVとのふれあいの時間をふやし、話す聞く活動を多く取り入れた。じゃんけんには負けたら子ども達がインタビューされる側に回るルールにしてドキドキしながら取り組む場面や、風船をマイク代わりにして何周も回して一人一人に自己紹介や挨拶、数字など他の言語で話す場面を作った。カナダ、中国、ブラジル、ブータン、セネガル、パラオからの実物を提示してのクイズでは、グループで話し合う中で子どもならではの楽しい回答が飛び出し、それぞれの国の人々の生活を想像する楽しい時間となった。また、終了後に、平田村公民館の方々のご配慮で振り返りをする時間がとれた。興奮冷めやらぬゲストやOVから、各国のじゃんけんの仕方が話題になり、さらに「～もクイズにできそうだな」と盛り上がるなど、次のキャラバンへのネタもできた。

族衣装のOV3名にも子ども達は興味深々。外国人は4名以上と思っていた子ども達が多かった。「全員(OV含め)が外国人!」と言う子どもも数名おり、楽しいオープニングとなった。今回は、ゲストやOVとのふれあいの時間をふやし、話す聞く活動を多く取り入れた。じゃんけんには負けたら子ども達がインタビューされる側に回るルールにしてドキドキしながら取り組む場面や、風船をマイク代わりにして何周も回して一人一人に自己紹介や挨拶、数字など他の言語で話す場面を作った。カナダ、中国、ブラジル、ブータン、セネガル、パラオからの実物を提示してのクイズでは、グループで話し合う中で子どもならではの楽しい回答が飛び出し、それぞれの国の人々の生活を想像する楽しい時間となった。また、終了後に、平田村公民館の方々のご配慮で振り返りをする時間がとれた。興奮冷めやらぬゲストやOVから、各国のじゃんけんの仕方が話題になり、さらに「～もクイズにできそうだな」と盛り上がるなど、次のキャラバンへのネタもできた。

2018 10/13 福島市庭塚小学校

室井 研一 (H19-3 ヨルダン 体育)

10月13日、福島市の庭塚小学校で小学4,5,6年生を対象に地球体験キャラバンを実施しました。今年も福島県庁国際課から中国、カナダ、ニュージーランド出身の皆さんが講師として参加してくださいました。またアジアやアフリカでJICAボランティアとして活動していた隊員経験者も講師として参加し子供たちと一緒にクイズやゲームを通して異文化について理解を深めました。講師の母国語や英語以外の言語を初めて聞く子どもも多くイベントは大盛り上がりのなか幕を閉じました。



2018 12/15 桑折町中央公民館

星 明彦 (H27-2 セネガル 数学教育)



2018年12月15日(土)に桑折町中央公民館で小学4～6年生を対象に実施しました。OV会からは幕田さん(ザンビア)中鉢さん(マレーシア)の2名、県の国際課からはととビーさん(ニュージーランド)黎さん(中国)ナタリアさん(ブラジル)の3名にご協力いただきキャラバンを行いました。クリスマス前の時期ということでワールドクイズでは世界の様々なクリスマスに関するクイズをしました。子供たちにとって身近な「中国」、遠いアフリカの国「ザンビア」といった日本からの距離の違いからクリスマスの過ごし方や、ニュージーランドとブラジルの「南半球クリスマス」、またマレーシア、セネガルの「イスラム教の国でのクリスマス」など世界の様々なクリスマスについてクイズを通して学ぶことができたのではないかと思います。

2018 12/15 福島市

鈴木光飛斗(H27-2 モザンビーク 体育)

2018年12月16日福島市内の中学生を対象とした地球体験キャラバンを行いました。対象の生徒達は市のプロジェクトで国際理解について様々な経験を積んでおり、その締めくくりに途上国を学ぼうとキャラバンに参加しました。国際交流員、県費留学生からのクイズ、そして帰国隊員の穴戸、鈴木、吉田、飯部から途上国のことを知ってもらうお話しをしました。今回伝えなかったことは、先進国と途上国を上下関係で見ないことでした。生徒達は色々なことを知っていました。だからこそ、ネットやメディアの知識だけで偏見が固まらないよう、実体験を会話のように伝え合える機会ができてとても良かったと思いました。



2019 2/16 須賀川市交流センターtette

中山澄子(H12-1 パラオ 小学校教諭)

平成31年2月16日(土)に須賀川市交流センターtetteで4年生以上の小学生、中学生23名を対象に行った。

大きな市で、しかも、定期的な子供教室のない公民館からの依頼はなかなか参加者が集まらないことも多いが、今回、参加募集にあたり、柴OVが、公民館に出向き募集のチラシを自らコピーして、須賀川市内の小中学校を訪ね、校長先生達に直接話すことで広く参加者を募ってくれた。OVである水谷さん、本名さんの協力で、郡山にいるJICA技術研修員10名も参加することができ、他のOV(渡邊恭子さん、柴康二さん、星明彦さん、中山)も含めると、参加者の3名につきゲスト2名という贅沢な交流会となった。有難いことにゲストが多いので、国名をしっかり聞き取ることで、まず耳から世界にふれるオープニングとなった。日本語では全く違う「ナイジェリア」と「ニジェール」が発音されるととても似ていること、中国の中国読みが子ども達には「韓国語」のように聞こえることも分かった。



90分という短い時間だったこと、動いて活動するには狭いこと、フランス語圏の方が多いことから、オープニング後すぐに、チームビルディングを3つ行なった。チームで風船を使ったゲームをして、笑いや歓声とともに気持ちをほぐす活動をした。その後、その風船をマイクがわりにゲストへのインタビューをして、ゲストの紹介シートを作成した。最後に、県交流員とOVによる5か国のワールドクイズを行った。今回、ゲストと触れ合う時間をたっぷりとったことで、参加者からゲストに対して「やさしい」という感想が、たくさん挙がった。キャラバンに参加するという「世界」にとびこんできたものの、子ども達は、恥ずかしがり屋であり、初めての出会いは不安でいっぱいである。それは、大人も同じこと。そんな時に、ゲストのやさしさに振れることで、人と人の温かい交流ができたことが本当によかった。ゲストにとっても、子ども達の笑顔に明るい未来を感じるよい機会となった。

2019 2/23 鏡石町公民館

伊東瑞歩(H24-1 ブータン 栄養士)



2019年2月23日、鏡石町公民館で、アドベンチャークラブに所属する小学生を対象に実施しました。ゲストは、OV会から柴さん、渡辺さん、室井さん、伊東、そして県からはCIR3名に参加いただきました。

子どもたちはグループに分かれて、私たちの派遣国や母国のことは、習慣や学校生活について質問してくれました。普段ふれる機会が少ない国々の話を通じて、外国に対するイメージを考えたり、興味を持ったりするきっかけになれば嬉しいなと感じました。



05 お知らせ

Facebook と Inatagram を始めました！

Facebook では、FOCA の活動報告やイベント開催のお知らせもしています。
Instagram では、福島県出身または福島県にゆかりがある JICA 海外協力隊として、現在任国に派遣されている隊員の投稿をリポストしています。元隊員のみなさん！懐かしい任国の写真が見られるかもしれませんよ。是非、ページの活用やフォローをお願いします！



写真で伝える

JICA海外協力隊

1. FOLLOW ME @fukushima_jocv
2. #jocvphotonlife を付けて投稿

*プロフィール設定は公開し、左欄は必ず投稿してください。

JICA ボランティアから JICA 海外協力隊へ 制度変更のあれこれ

JICAボランティア事業は、2019年度から制度が変更になります。これからも時代に即した制度の改善・改革に取り組んでまいります！

何が変ったの？

- 1. 総称が JICA ボランティアから JICA 海外協力隊へ**
2018 年度秋募集より「JICA ボランティア」という総称を「JICA 海外協力隊」に改めました。
- 2. 派遣区分が「年齢」から「案件内容」へ**
40 歳を境に青年海外協力隊とシニア海外ボランティアに分かれていましたが、年齢ではなく、“一般案件”と“相当程度の経験・資格を求める案件”という内容によって派遣区分が分かります。
- 3. 海外支給手当も基本同一に**
海外で支給される現地生活費や住居費限度額も年齢区分により差がありましたが、基本同一額となります。国内で支給される手当等も抜本的に見直しとなりました。

派遣前訓練が年 3 回に

年間派遣回数数が4回から3回になります。また年齢にかかわらず、JICA 海外協力隊は全員 70 日間の派遣前訓練を受けることとなります。

JICA 海外協力隊

一般案件	
青年海外協力隊	日系社会青年海外協力隊
一定以上の経験・技能等が必要な個別案件へ応募する場合 (シニア案件)	
シニア海外協力隊	日系社会シニア海外協力隊